

2014. 5. 5

渡航情報（スポット情報）

（件名）

ケニア：ナイロビ市内及びモンバサ市内での爆弾爆発事件等の発生に伴う注意喚起

（内容）

- 1 5月4日夕刻（現地時間）、首都ナイロビ市内のカサラニ地区にあるティカ・ロード・モール前の道路上と、右モール付近のホームランド・ホテル前の2箇所において乗り合いバスに仕掛けられた爆弾が爆発し、少なくとも2人が死亡、50人以上が負傷しました。
また、前日の3日（現地時間）にも、ケニア第二の都市、モンバサ市内において、モンバサ駅から西へ延びるムウエンベ・タヤリ・ロード沿いのバス停において爆弾が爆発し、付近に居合わせた人々が巻き添えになり、少なくとも3人が死亡、7人が重軽傷を負いました。同時に、モンバサ島北東部対岸にある「リーフ・ホテル」でも爆弾が爆発しました。
- 2 ケニアでは、昨年9月、ソマリアの武装組織「アル・シャバーブ」によるナイロビ市内ショッピング・モール襲撃テロ事件が発生し、外国人を含む多数が犠牲になりました。その後も、ケニア軍がソマリアにおいてアル・シャバーブに対する軍事作戦を行っており、これに対してアル・シャバーブが聖戦の実行を呼びかける声明を発出するなど、ケニアに対するアル・シャバーブの報復テロの脅威は高まっています（3月20日付広域情報「東アフリカ：ソマリアのイスラム過激派組織によるテロの脅威に伴う注意喚起」参照）。
- 3 ケニアに渡航・滞在される方は、上記の情報に十分留意して最新の治安情報の入手に努めてください。特にダダーブ、ガリッサを含めたソマリア国境付近には近づかないようにし、また、テロが頻発しているナイロビ市内のイスリー地区、パンガニ地区、カサラニ地区、さらにモンバサ市内においては、上記1の事件発生地に加え、マジェンゴ地区及びチャンガムウェ地区への立入りは控えるようにしてください。また、政府・治安関連施設、国連関係施設、宗教施設へもできるだけ近づかないようにするとともに、外国人が多く利用する施設や人が多く集まる施設（ショッピング・モールやホテル、レストラン、空港等）を利用する際には細心の注意を払い、不審な状況を察知したら速やかにその場を離れるなど自らの安全確保に努めて下さい。
- 4 海外渡航前には万一来に備え、家族や友人、職場の同僚等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。また、テロ事件等に遭遇した際には、在ケニア日本国大使館に速やかに連絡を取るようお願いします。緊急事態に備え、携帯電話にあらかじめ大使館の連絡先（電話：+254-(0)20-2898000）を登録するとともに、御質問等がある場合は、大使館領事・警備班宛（大使館領事メール：ryouji@nb.mofa.go.jp）にご連絡ください。

ケニア：危険情報

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspotazardinfo.asp?id=100#ad-image-0>

(問い合わせ窓口)

○外務省領事サービスセンター

住所：東京都千代田区霞が関 2-2-1

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 2902

(外務省関連課室連絡先)

○外務省領事局邦人テロ対策室 (テロ・誘拐関連)

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 3680

○外務省領事局海外邦人安全課 (テロ・誘拐関連を除く)

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 2306

○外務省 海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp> (携帯版)

○在ケニア日本国大使館

住所：Mara Road, Upper Hill, Nairobi, Kenya

(P.O. Box 60202, Nairobi)

電話：(市外局番 020) 2898000 (代表)

国外からは (国番号 254) 20-2898000 (代表)

FAX：(市外局番 020) 2898220

国外からは (国番号 254) 20-2898220

ホームページ：<http://www.ke.emb-japan.go.jp/j-index.html>